

### C大腸がん34

対象疾患	大腸がん	レジメン名	Ram+l-LV+CPT-11+5-FU療法(Ram+FOLFIRI療法)		
1コースの期間(休薬期間含む)	14日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
2	ジフェンヒドラミン10 mg	5 T	経口		day 1
3	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
4	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~3 (Max day 2~4)
5	ラムシルマブ(Ram)	8 mg/kg	点滴静注	60分 ※備考欄参照	day 1
	生食250 mL	1 P ※備考欄参照			
6	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
7	レボホリナート(l-LV)	200 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間	day 1
	生食250 mL	1 P			
8	イリノテカン(CPT-11)	150 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	90分	day 1
	生食250 mL	1 P			
9	フルオロウラシル(5-FU)	400 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	全開	day 1
	生食50 mL	1 P			
10	フルオロウラシル(5-FU)	2400 mg/m <sup>2</sup>	持続静注	46時間	day 1
	生食250 mL	※備考欄参照			
11	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
血管外漏出 リスク分類	Ram: 非炎症性 CPT-11: 炎症性 5-FU: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 中等度 (Ram: 最小度 CPT-11: 中等度 5-FU: 軽度)				
インラインフィルターの の要不要	Ram投与のため、0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを使用				
備考欄	<p>※Ramは、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量250 mLとなるように希釈する。</p> <p>※ジフェンヒドラミンは、Ram投与前に内服する。</p> <p>※Ramの2回目以降は、初回時に忍容性が良好であれば投与時間を30分まで短縮可能である。</p> <p>※l-LVとCPT-11は、同時に投与開始する。</p> <p>※5-FUの持続静注分は、全量230 mLとなるように調製し、bolus投与後にインフューザーポンプを用いて投与開始し46時間かけて投与する。</p>				